

2004年9月期 決算説明会

木徳神糧株式会社 (JQ:2700)

2004年12月6日

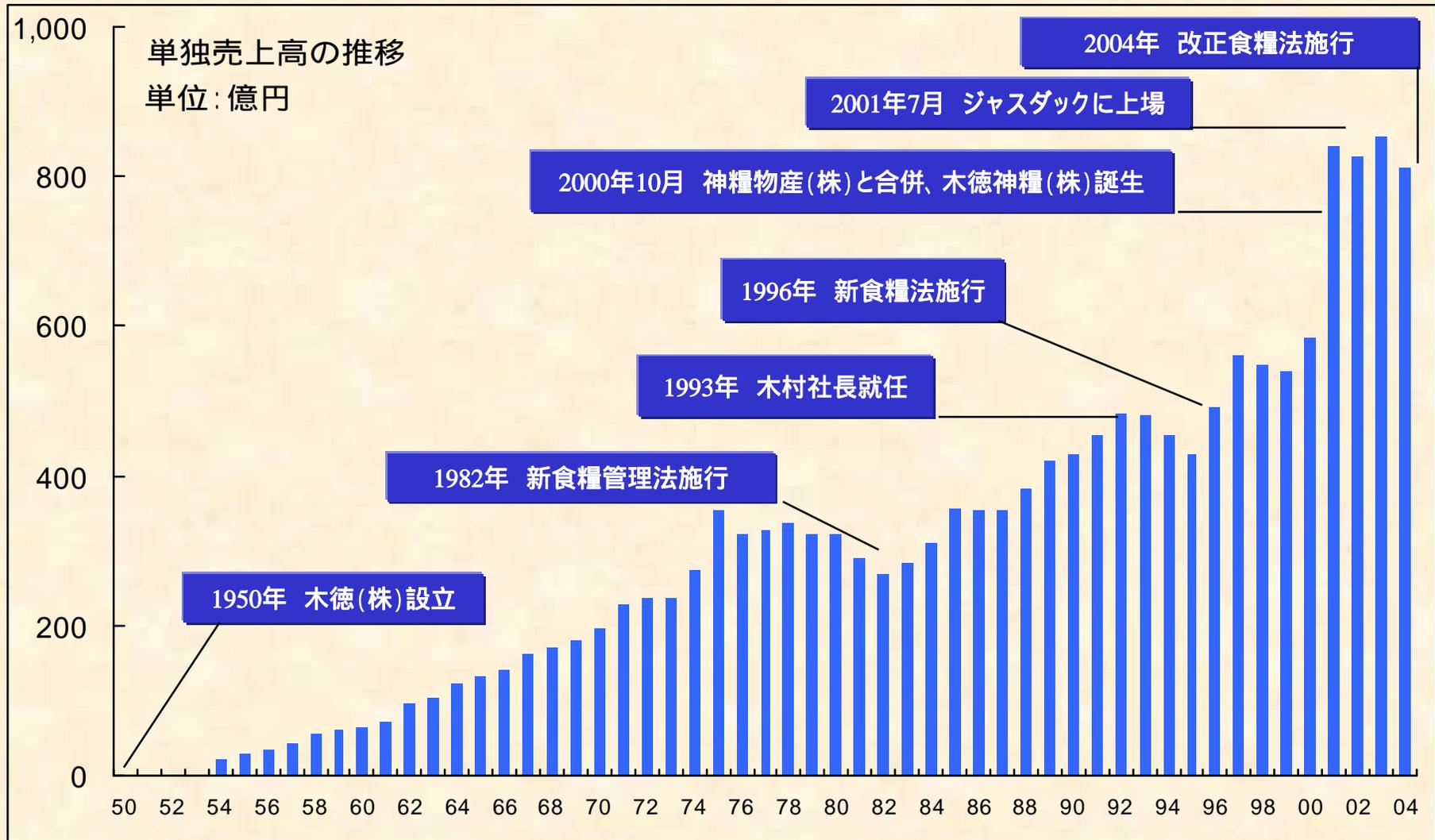
会社概要

会社概要

会社名	木徳神糧株式会社 (KITOKU SHINRYO Co., Ltd.)			
代表者	代表取締役社長 木村 良			
設 立	1950年3月22日			
所在地	東京都品川区東品川2 - 2 - 24 天王洲セントラルタワー14階			
資本金	5億2,950万円			
事業内容	米穀事業、飼料事業、海外事業、その他			
従業員	連結382名、単独150名(臨時雇用者を除く)			
連結子会社	(株)ライスピア、木徳九州(株)、(株)備前食糧、内外食品(株) (株)茨城内外食品、(有)共栄ファーム、キトクフーズ(株)、 関東内外食品事業協同組合、一番保険サービス(株)、 アンジメックス・キトク合併会社、キトクアメリカ会社、東洋鶏卵(株)			
大株主の状況	木村謙三	4.8%	発行済株式数	8,530千株
	木村初子	4.1%		
	木村良	3.7%	株主総数	1,180名
	従業員持株会	3.1%		
	東京三菱銀行	2.8%		

平成16年9月末現在

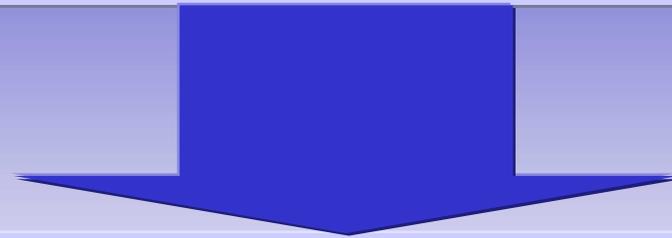
沿革



経営理念と経営戦略

経営理念

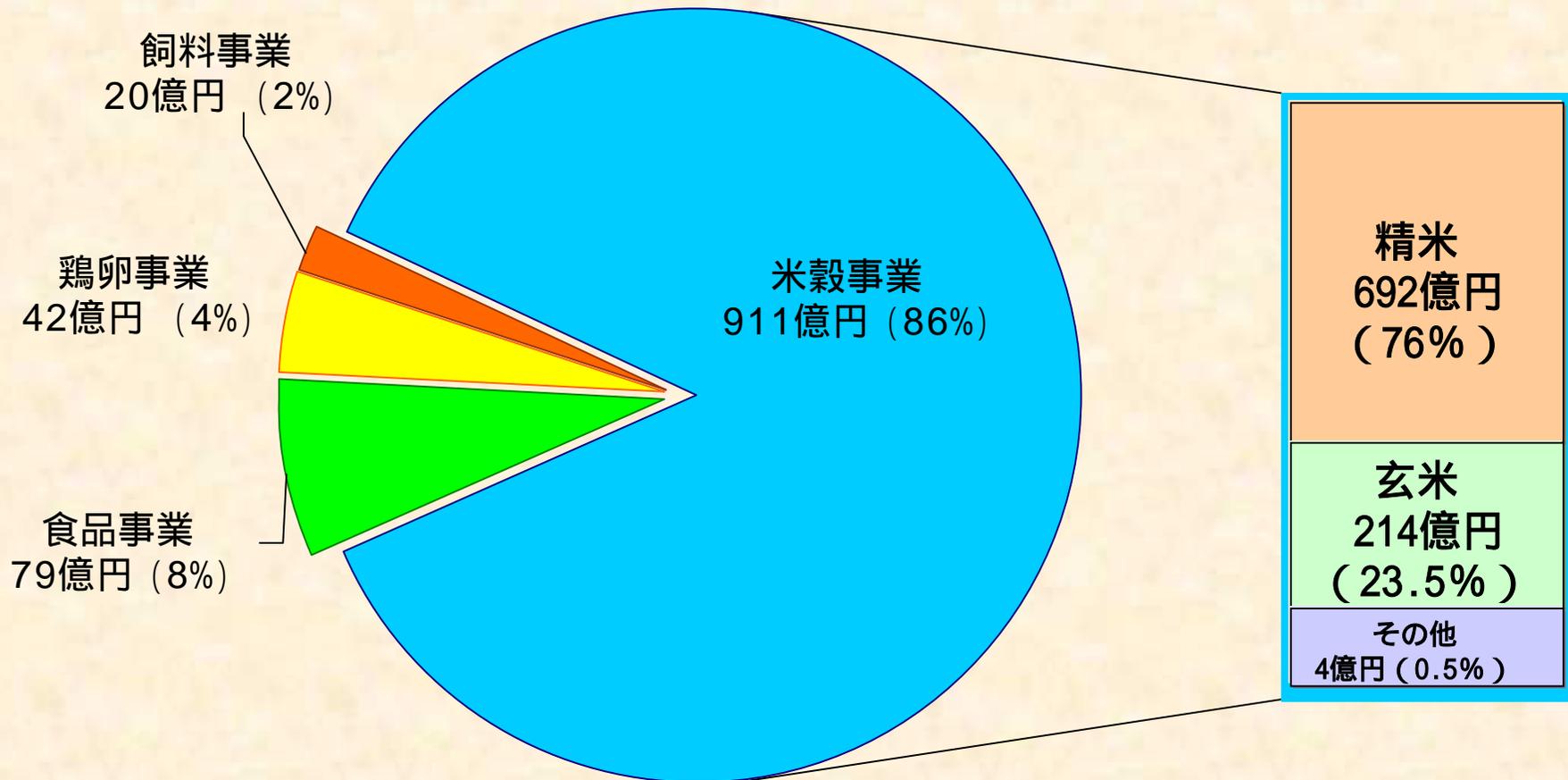
誠意と感謝の気持ちを持ち、より高いクオリティを追求し、新しい価値を創造する企業であり続けます。



経営戦略

- ・仕入機能と営業力の強化で商品企画と提案力を高める
- ・生産体制の転換を図り、低コストで高い生産効率を実現する
- ・有利子負債の圧縮とキャッシュ・フロー経営を推進する

グループの事業内容



グループの主要営業・生産拠点

コメ加工食品事業
笹神工場・新潟



備前食糧(株)精米工場



木徳九州(株)精米工場



(株)ライスピア仙台精米工場



内外食品(株)



桶川精米工場・飛翔館



本牧精米工場



木徳神糧(株)本社



海外拠点



キトクアメリカ(アメリカ)



アンジメックスキトク(ベトナム)



決算状況

損益計算書ハイライト(連結)

単位:百万円

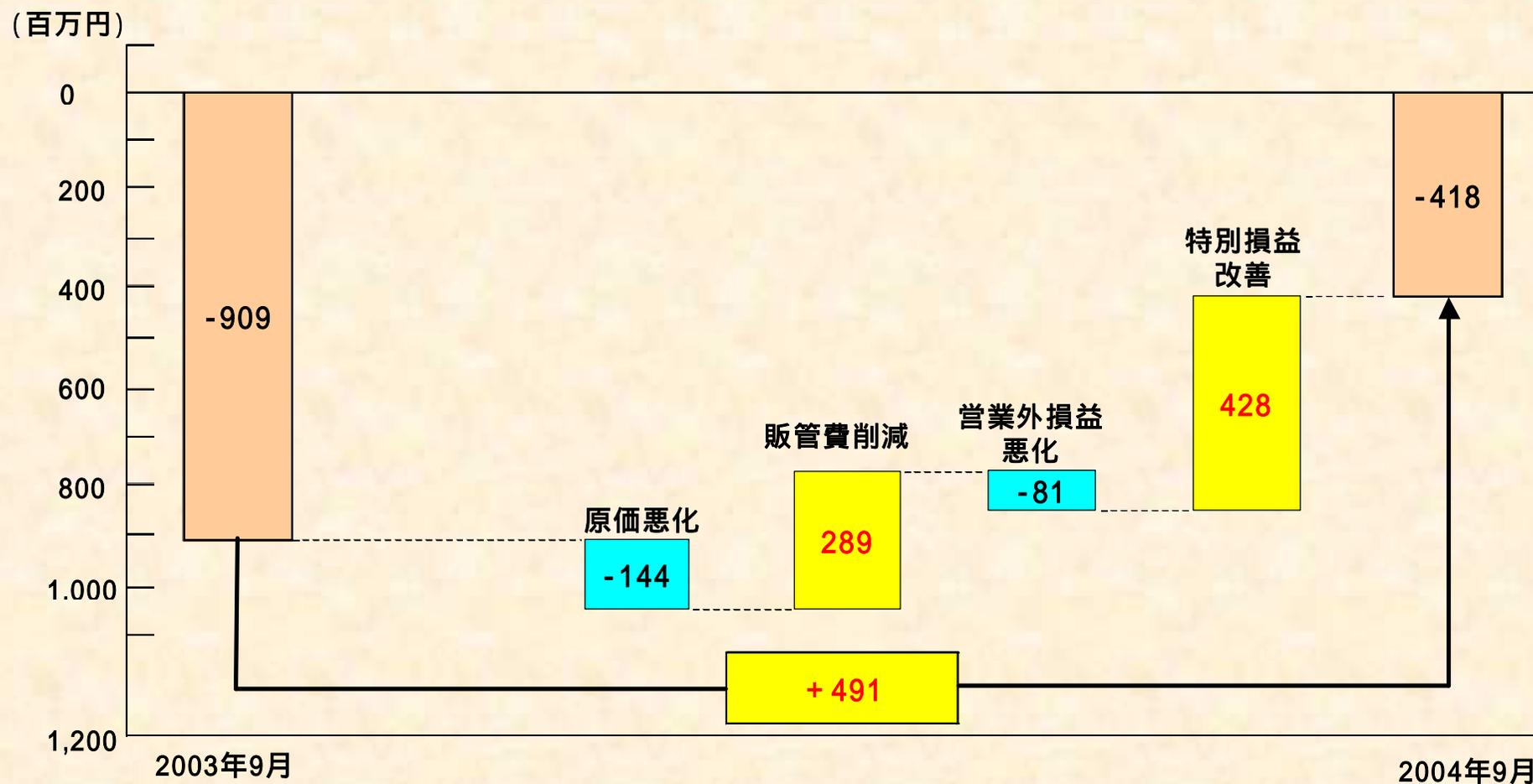
主 　　な 　　項 　　目	03年9月期	04年9月期	増減額
売 上 高	105,764	105,432	332
売 上 総 利 益	7,404	7,237	167
販 管 費	7,438	7,126	312
営 業 利 益	33	110	143
経 常 利 益	289	226	63
税金等調整前当期純利益	909	418	491
法 人 税 等	263	748	1,011
当 期 純 利 益	645	1,166	521

セグメント別の状況

単位:百万円

主 な 項 目		03年9月期	04年9月期	増減額	主な増減要因
米穀事業	売上高	91,557	91,160	397	15年産米の価格高騰、販売数量の減少
	営業利益	1,058	1,012	46	
鶏卵事業	売上高	4,284	4,234	50	
	営業利益	68	118	50	
食品事業	売上高	7,936	7,984	48	下期の鶏肉相場回復 もち米粉・上新粉販売が堅調に推移
	営業利益	12	239	251	
飼料事業	売上高	1,986	2,051	65	米糠、ふすま等糟糠類の販売堅調に推移
	営業利益	124	163	39	
連結合計 (消去後)	売上高	105,764	105,432	332	
	営業利益	33	110	143	

税金等調整前当期純利益の増減要因



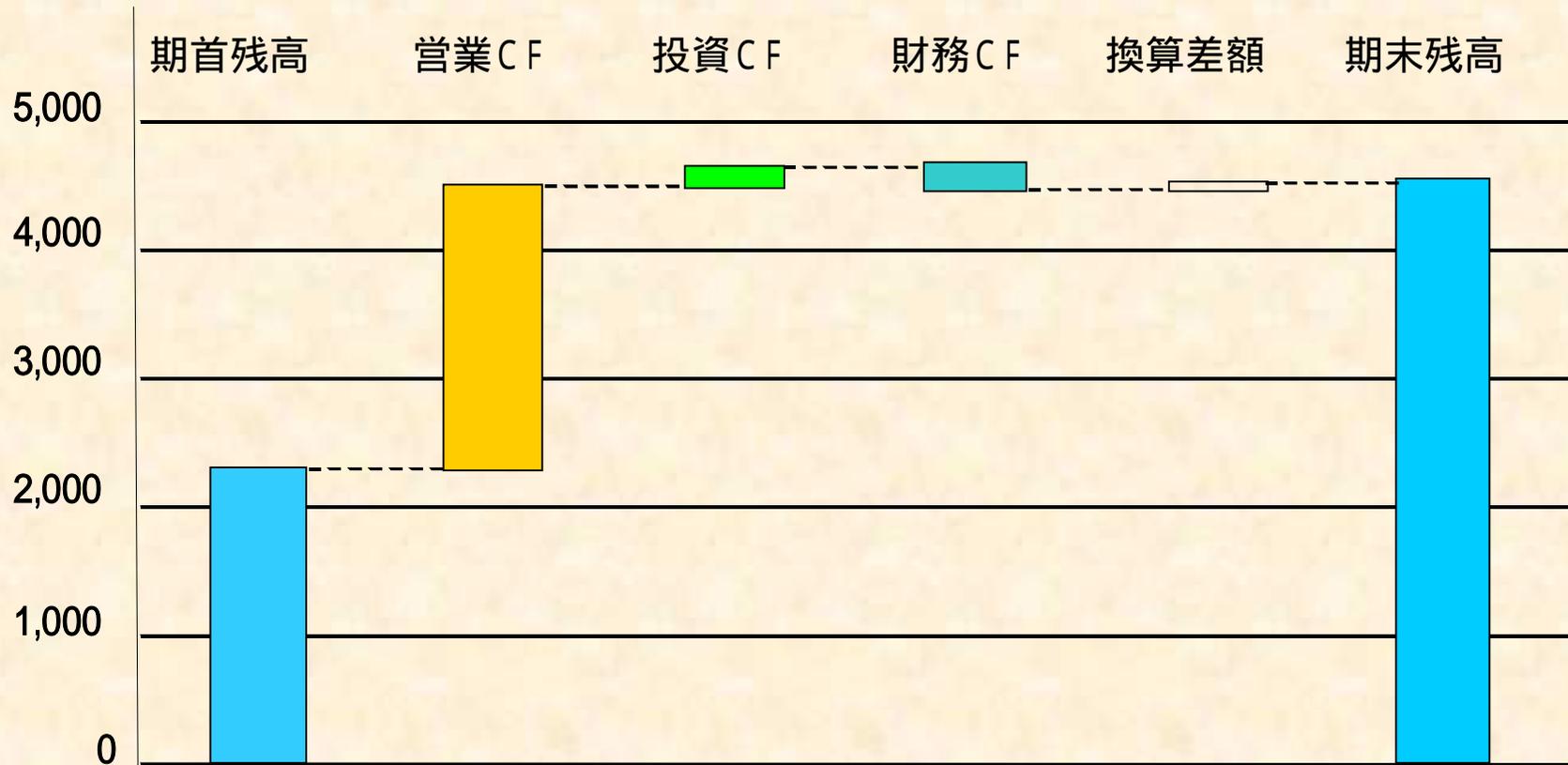
貸借対照表(連結)

単位:百万円

主 な 項 目	03年9月期	04年9月期	増減	主な増減要因
現金および預金	2,304	4,495	2,191	
売掛債権	8,905	8,642	263	
棚卸資産	3,956	3,751	205	
その他流動資産	2,900	1,787	1,113	
流動資産	18,066	18,676	610	
有形固定資産	10,603	10,422	181	
無形固定資産	146	542	396	ソフトウェア 398百万円
投資等	2,649	2,576	73	
固定資産	13,399	13,541	142	
資産合計	31,465	32,218	753	
買掛債務	3,463	3,211	252	
有利子負債	20,812	20,892	80	現預金差引後のネットで前期比約 21億円
その他負債	1,742	3,737	1,995	購入約定済玄米損失引当金892百万円 繰延税金負債 825百万円
負債合計	26,018	27,840	1,822	
少数株主持分	355	472	117	
資本合計	5,091	3,904	1,187	

キャッシュフロー計算書

(百万円)



2003年9月	営業CF	投資CF	財務CF	換算差額	2004年9月
2,287	2,285	101	-200	1	4,474

キャッシュフローの状況(連結)

単位:百万円

主な項目	03年9月期	04年9月期	増減額	主な増減項目
税金等調整前当期純利益	909	418	491	
減価償却費	954	1,000	46	
売上債権増減額	85	464	379	
棚卸資産増減額	35	217	252	
仕入債務増減額	272	411	683	
その他	825	1,433	2,258	購入約定済玄米損失引当金892、 収用等移転補償金301
営業活動によるCF	458	2,285	2,743	
有形固定資産の取得・売却	1,208	254	1,462	(前年度)九州に無洗米工場建設
その他	8	153	145	
投資活動によるCF	1,216	101	1,317	
フリーキャッシュ・フロー	1,674	2,386	4,060	
借入金による収入・支出	235	175	60	
その他	61	25	36	
財務活動によるCF	296	200	96	
ネットキャッシュ・フロー	1,970	2,187	4,157	

決算期変更に関するお知らせ

当社の営業年度は従来10月1日から9月30日までとしておりましたが、近年における当社主力取扱商品であります米穀の生産量の激変ならびにそれに基づく激しい価格変動に対処するため、米穀年度(11月1日から10月31日まで)を考慮し、営業年度を1月1日から12月31日までとするものであります。

決算期変更の内容:

現在 毎年 9月30日

変更案 毎年12月31日

したがって、決算期変更の経過期間となる今期第57期は、平成16年10月1日から平成16年12月31日までの3ヶ月決算となる予定であります。

業績予想

単位:百万円

連結業績予想	04年9月期実績	04年12月期(3ヶ月) 予想	05年12月期予想	04年9月期との増減額
売上高	105,432	26,900	107,000	1,568
売上総利益	7,237	1,980	7,900	663
営業利益	110	240	970	860
経常利益	226	170	680	906
当期利益	1,166	110	490	1,656

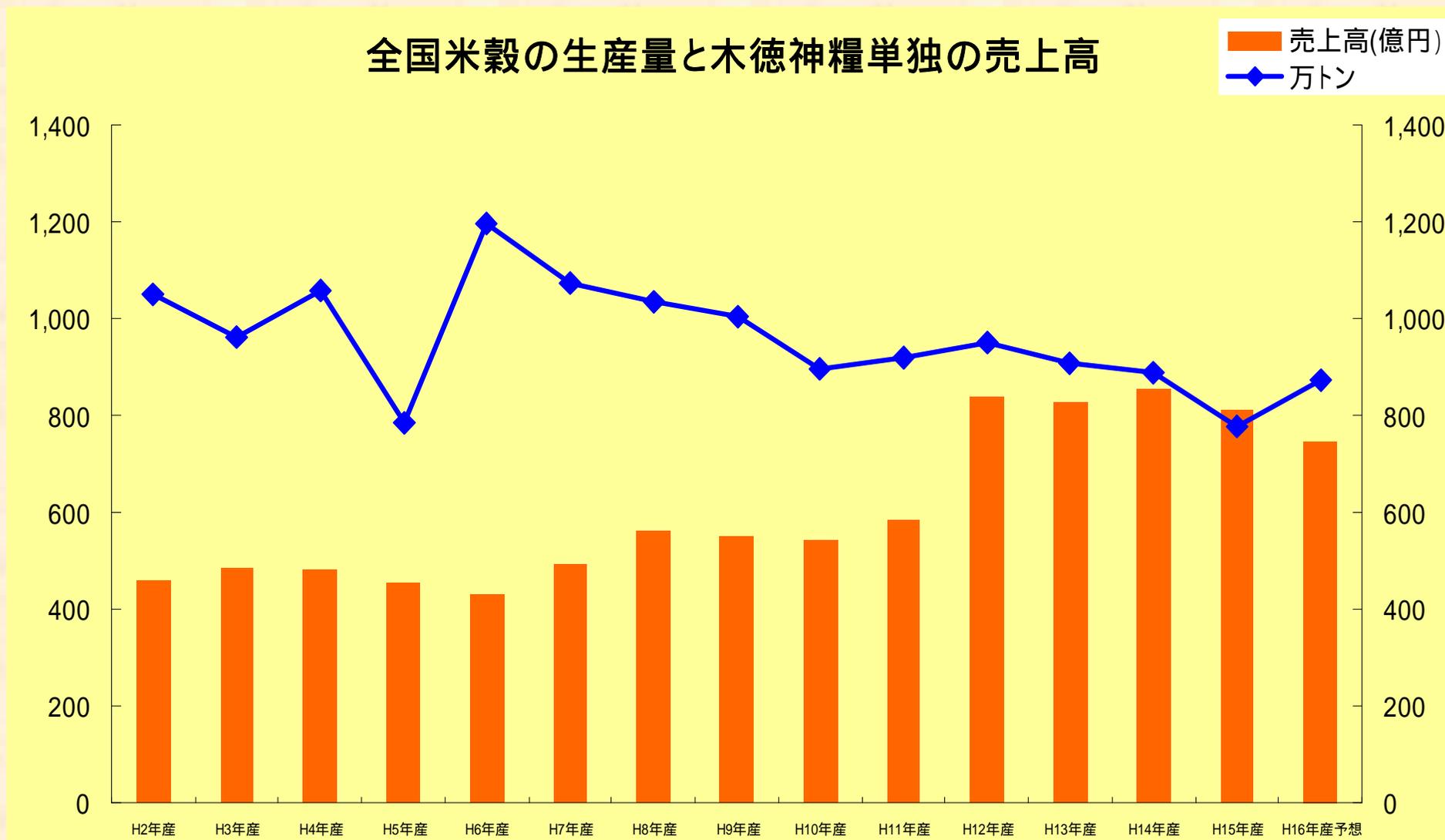
業績予想の前提条件

単位:百万円

セグメント別業績予想		04年9月期 実績	04年12月期 (3ヶ月)予想	05年12月期 予想	04年9月期 との増減額	前提条件
米穀事業	売上高	91,160	22,720	90,705	455	
	営業利益	1,012	428	1,890	878	価格は15年産比低下、数量は増加
鶏卵事業	売上高	4,234	1,519	6,233	1,999	
	営業利益	118	28	151	33	東洋鶏卵(株)を連結対象に
食品事業	売上高	7,984	2,199	8,278	294	
	営業利益	239	80	88	151	
飼料事業	売上高	2,051	488	1,900	151	
	営業利益	163	33	133	30	配合飼料価格は軟調
連結合計 (消去後)	売上高	105,432	26,900	107,000	1,568	
	営業利益	110	240	970	860	

事業環境と今後の展望

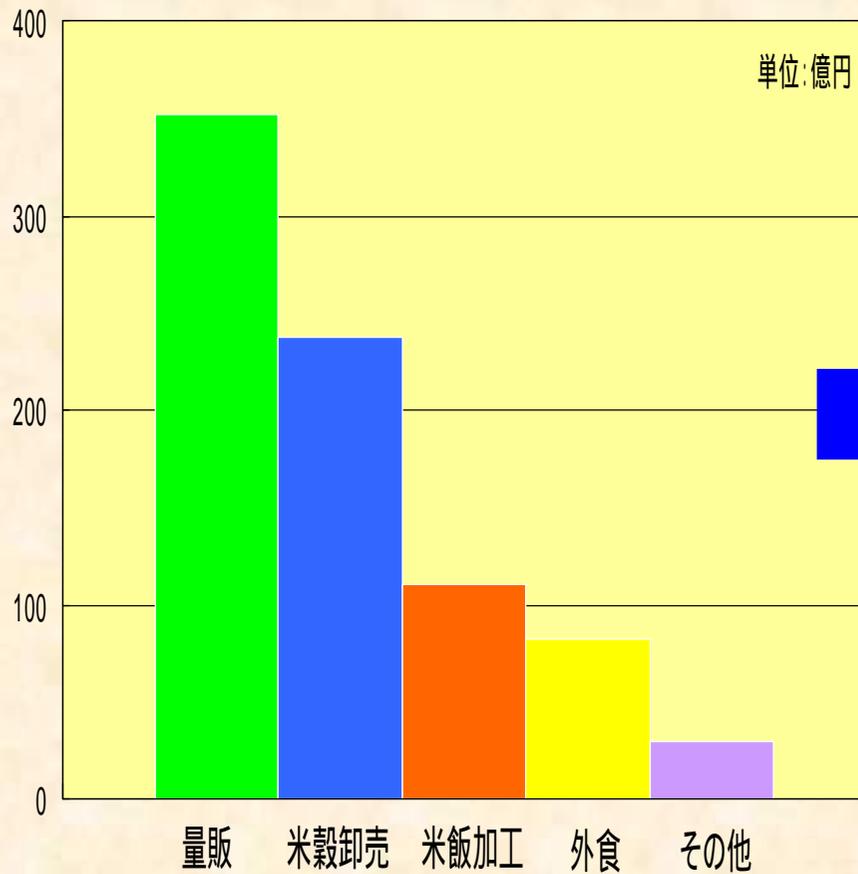
米穀の市場規模と単独の売上高



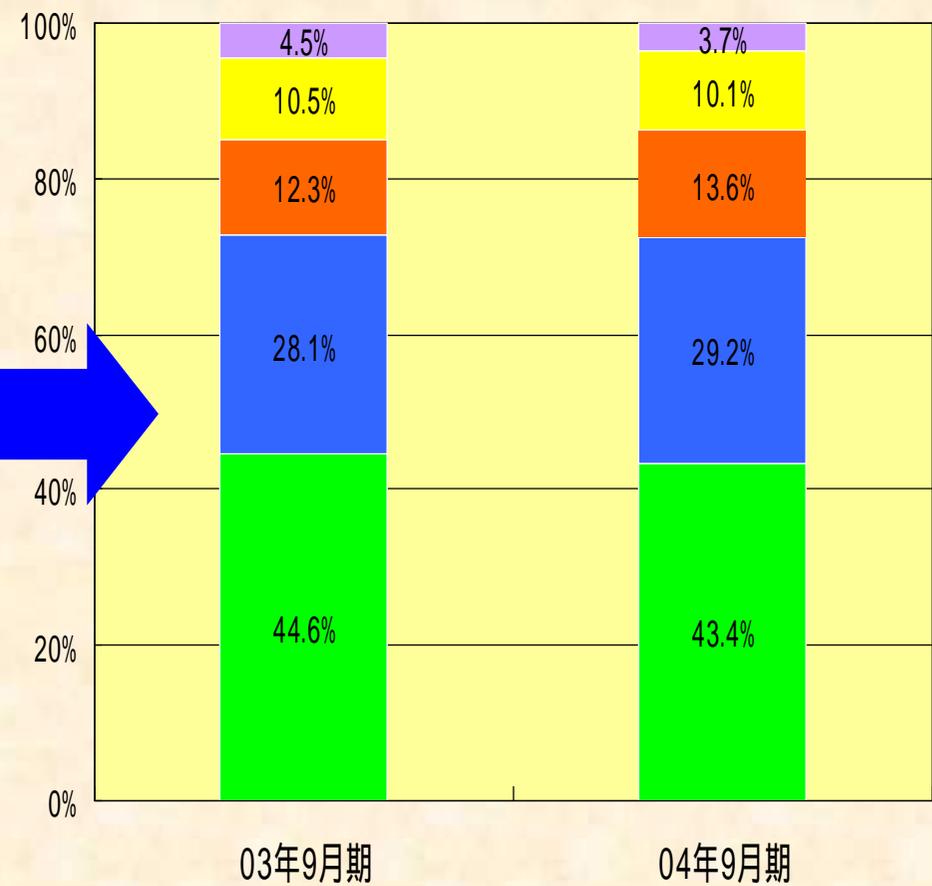
出所: 全国米穀の生産量は農水省資料を基に当社作成。

販売チャネル別売上高と構成比

販売チャネル別売上高(04年9月期単独)

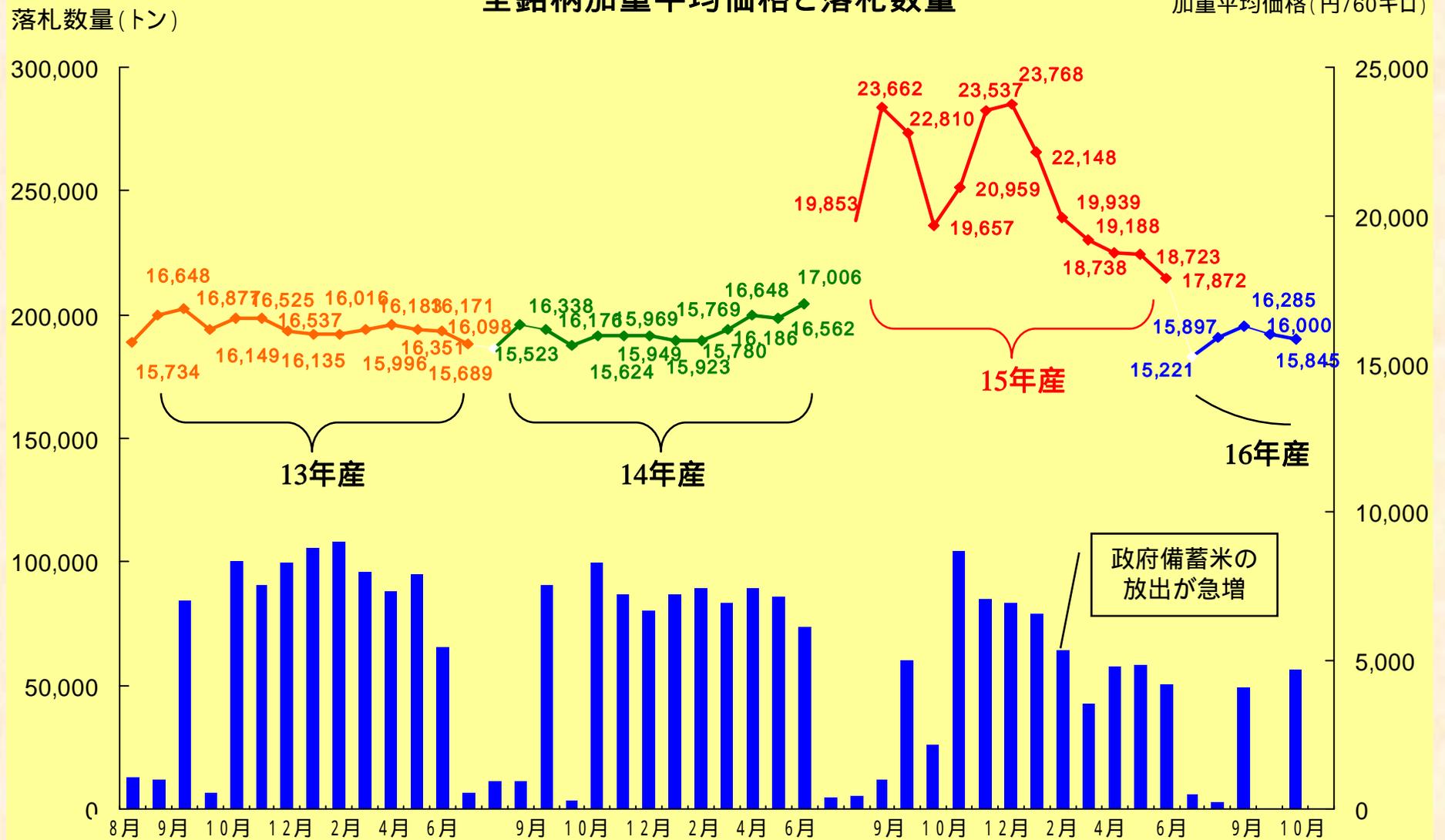


販売チャネル構成比(単独)



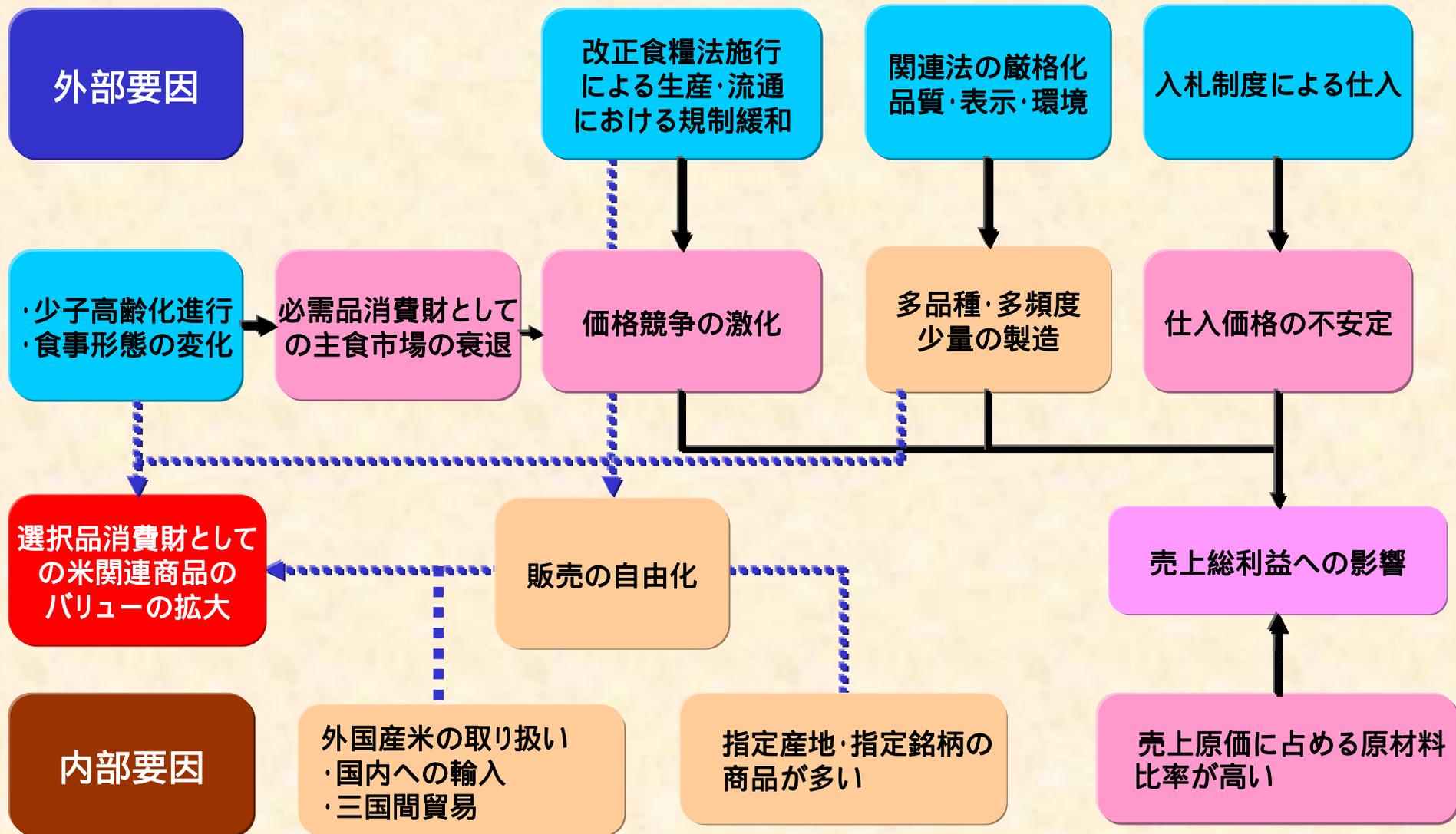
米穀の入札取引価格の推移

全銘柄加重平均価格と落札数量



出所: コメ価格センター資料を基に当社作成。

米穀事業の現状認識



全体方針と基本戦略

全体方針

お客様ニーズに応える競争力のある商品の提供を通じて安定収益の確保を図る

基本戦略

マーケティング力の再生による収益の拡大

×

企業体質の強化によるコストの低減

個別戦略

首都圏で新規開拓
西日本で販売強化

付加価値商品の
販売強化

製造の効率化

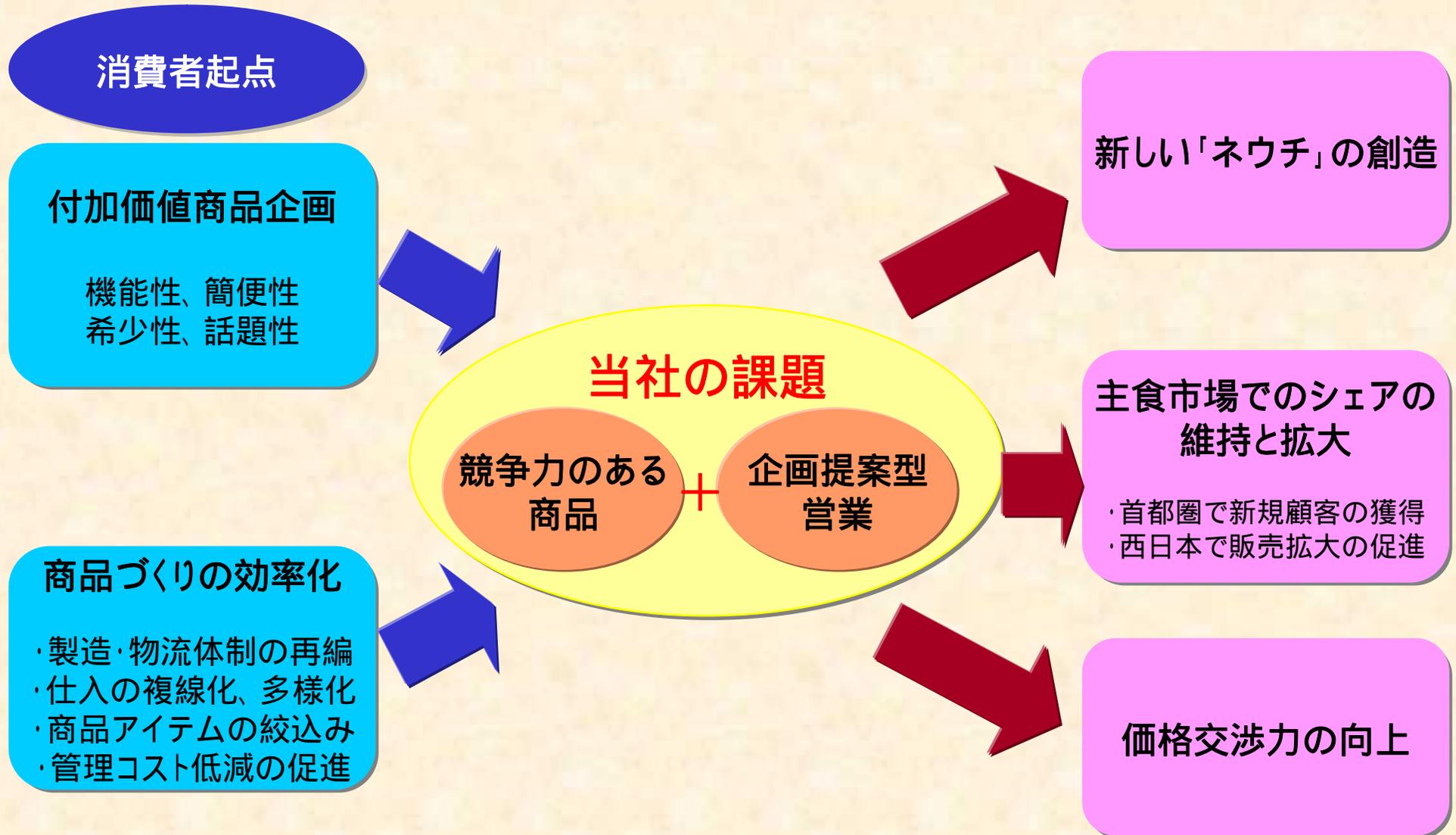
仕入の多様化
と管理の徹底

投資・債務・在庫
人員・経費の管理徹底

組織体制

グループ経営の推進と組織の簡素化

マーケティング力の再生



企業体質の強化

製造効率化

業務効率化

主要内容	05年12月期計画	主要内容	05年12月期削減計画
製造効率化	200百万円	人件費の削減	40百万円以上
<ul style="list-style-type: none"> ・製造アイテムの標準化による効果 ・製造スペックの見直しによる改善 ・製造人員の適正化による削減 ・製造経費の見直しによる削減 		経費削減	
		主要内容	05年12月期削減計画
		一般管理費削減	70百万円以上
総合計額 310百万円以上			

有利子負債の削減	1,000百万円
----------	----------

05年12月期の業績目標

主要項目	05年12月期連結計画
売上高	107,000百万円
売上総利益	7,900百万円
営業利益	970百万円
経常利益	680百万円
当期純利益	490百万円

将来の予測について

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等と大きく異なる可能性があります。